

岡山の建設コンサル会社と関ヶ原町 空き家活用で協定締結



協定書を手にする西脇康世町長と神野洋取締役
常務執行役員東日本統括(右)＝関ヶ原町役場

関ヶ原町は、建設コンサルタント業のエイト日本技術開発(岡山県)と、空き家などの地域資源の活用に関する協定を結んだ。同社が県内の自治体と同様の協定を結ぶのは初めて。同社の関連会社である日

本自動車道(同町)が町内を走る伊吹山ドライブウェイの運営を行っている関係で協定締結に至った。町内にはおよそ320戸の空き家があり、これまで町が空き家バンクの登録を進めるなど解消に取り組んでき

た。協定では同社のノウハウを生かし、観光促進や地域活性化に向けての活用を図る。

町役場で開かれた締結式で、西脇康世町長は「町から人が出て行かない、来てもらえるよう活用できれば」と期待を込めた。同社の神野洋取締役常務執行役員東日本統括は「どんなまちづくりができるか、地域

住民の需要も聞きながら取り組みたい」と述べた。今月から地元自治会や事業者へのヒアリングを進め、具体的な活用方法を模索する。(西垣剛大)